

2022年度数字で見る全国遺跡報告総覧

高田祐一（奈良文化財研究所）

The Comprehensive Database of Archaeological Site Reports in Numbers, 2022

Takata Yuichi (Nara National Research Institute for Cultural Properties)

・データ量／Amount of data・利用実績／Usage record・活動報告／Activity report

全国遺跡報告総覧の経過やデータ件数などを紹介する。

1. 現在のデータ件数とデータの流れ

全国遺跡報告総覧に登録されているデータ件数は以下の通り（2022年10月23日時点）。推移は表1。データ連携は図1。

PDFがある書誌登録数：33,377

総ページ数：4,058,544

総文字数：2,727,174,627

書誌登録数：125,221

書誌の発行機関数：1.875

遺跡抄録件数：140.569

文化財動画件数：888

文化財イベント件数：734

2. 全国遺跡報告総覧のこれまでの経過

2008年から2014年までは遺跡資料リポジトリである。

2008（平成20）年度

- ・ 中国地方5県域（大学）で遺跡資料リポジトリの運用開始（各大学が個別にサーバ管理）
- ・ メタデータの収集
- ・ 作成開始（奈文研とも連携）
- ・ 報告書の電子化開始（NIIのCSI事業費）

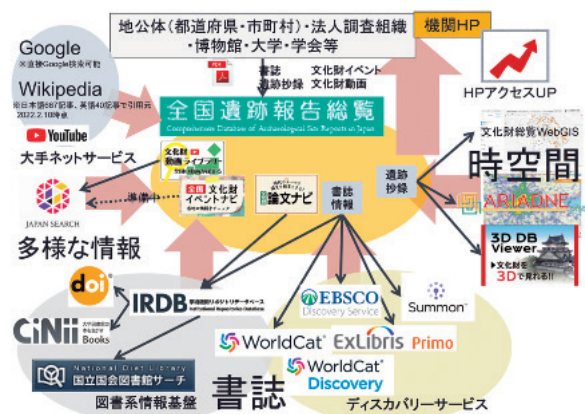


図1 全国遺跡報告総覧とのデータ連携

表1 全国遺跡報告総覧に登録されているデータ件数の推移

[illegible]

※2008年度から2014年度は遺跡資料リポジトリの統計

2009（平成21）年度

- ・12府県域(大学)へ拡大(各大学が個別にサーバ管理)
- ・横断検索・全文検索に対応するためのシステム改修
- ・報告書の電子化（CSI事業費／科研費）

2010（平成22）年度

- ・20府県域（大学）へ拡大
- ・NII共同サーバ上にシステム構築(新規参加大学向け)
- ・オープンカンファレンス開催（2010.12@大阪）
- ・報告書の電子化（CSI事業費／科研費）

2011（平成23）年度

- ・自治体セルフ・アーカイブ移行のためのシステム改修
- ・全国の自治体にアンケート調査を実施
- ・プロジェクトが推進する電子化仕様を公開
- ・ワークショップ開催（2010.11@東京／同.12@福岡）
- ・報告書の電子化（CSI事業費）

2012（平成24）年度

- ・CSI委託事業最終年度
- ・22府県域（21大学）へ拡大
- ・報告書の電子化（CSI事業費／科研費）
- ・奈文研と広域モデル実証実験開始（報告書発行機関による直接参加が可能に）
- ・シンポジウム開催（2012.11@福岡）

2013（平成25）年度

- ・報告書の電子化（科研費）
- ・奈文研とシステム移行に向けた協議開始

2014（平成26）年度

- ・島根大学附属図書館全国遺跡資料リポジトリ推進会議事務局が国立大学図書館協会賞を受賞（2014.6）
- ・連携大学実務者会議でシステムの統合・移管が決定（2014.11）
- ・旧システムの凍結及びシステム移行作業（2014.12～）

2015（平成27）年度

- ・連携大学による新システムの検証（負荷テスト等）
- ・全国遺跡報告総覧の公開（公開時点の報告書14,374冊）（2015.6）
- ・データ登録再開（2015.8）
- ・ディスカバリーサービス（Summon）との連携開始（2015.9）

- ・報告書本文データの登録件数が15,000件に（2015.10）
- ・シンポジウム開催（2016.2@奈良）
- ・CiNii Booksとの連携開始（2016.3）

2016（平成28）年度

- ・英語自動検索機能公開のお知らせ（2016.8）
- ・イベント情報（文化財イベントナビ）の登録・公開機能を追加（2016.9）
- ・シンポジウム開催（2016.11@奈良）開催
- ・Worldcat（ディスカバリーサービス含む）との連携開始（2017.2）

2017（平成29）年度

- ・ディスカバリーサービス（EDS）との連携開始（2017.4）
- ・報告書の頻出用語を可視化したワードマップを公開（2017.4）
- ・報告書本文データの登録件数が20,000件に（2017.7）
- ・文化財報告書にDOIの付与会誌（2017.7）
- ・考古学関係用語辞書拡充（2017.8）
- ・「データ登録に関する今後の方針」を公開（2017.10）
- ・報告書発行機関向けの説明会を開催（5会場：奈良／仙台／岡山／福岡／東京）

2018（平成30）年度

- ・モバイル端末向けPDFの公開（2018.8）
- ・遺跡（抄録）検索機能の公開（2018.12）
- ・ディスカバリーサービス（Primo）との連携開始（2018.12）
- ・全埋協抄録データベースの統合完了（2019.1）
- ・奈文研での関連研修内容をまとめた刊行物を遺跡総覧で公開（2019.3）
- ・報告書発行機関向けの説明会を開催（5会場：京都／福島／石川／埼玉／大分）
- ・引用表記の自動表示（2019.2）
- ・都道府県別の発掘調査報告書総目録 高知県・島根県編の公開（2019.3）

2019（令和元）年度

- ・欧州考古学情報基盤 ARIADNE Plus への奈良文化財研究所の参画（2019.4）
- ・都道府県別の発掘調査報告書総目録 新潟県編の公開（2019.4）

- ・全国の遺跡や文化財に関するイベント情報検索機能公開（2019.6）
- ・都道府県別の発掘調査報告書総目録 大阪府編の公開（2019.6）
- ・奈文研抄録データベースの全国遺跡報告総覧への統合完了（2019.6）
- ・発掘調査報告書総目録 新潟県編の書誌情報を全国遺跡報告総覧に登録（2019.11）
- ・書誌ページ QR コード表示機能とシリーズ番号順並び替え機能公開（2019.11）
- ・報告書発行機関向けの説明会を開催（5 会場：佐賀／新潟／広島／愛知／東京）
- ・発掘調査報告書総目録 大阪府・兵庫県・島根県・高知県編の書誌情報を全国遺跡報告総覧に登録（2020.1）
- ・類義語および OCR 誤認識用語検索機能の公開（2020.2）

2020（令和2）年度

- ・文化財動画ライブラリー公開のお知らせ（2020.8）
全国の発掘調査報告書の書誌情報 13583 件を一括登録（2020.10）
- ・遺跡位置の世界測地系 10 進法への簡易変換表示機能の公開（2020.11）
- ・全国の文化財地図・遺跡地図、発掘調査報告書等の書誌情報 1814 件を一括登録（2020.12）
- ・文化財動画ライブラリーが JAPAN SEARCH 上で検索可能に。データ連携開始（2020.12）
- ・青森県・福島県・岡山県の発掘調査報告書等の書誌情報 1257 件を一括登録（2021.2）
- ・文化財論文ナビの公開（2021.3）

2021（令和3）年度

- ・遺跡位置表示機能および Wikipedia 記事に全国遺跡報告総覧登録コンテンツを引用する際の表記を自動表示する機能の公開（2021.4）
- ・文化財論文情報の 13164 件を一括登録（2021.5）
- ・文化財論文ナビの機能およびメタデータの追加

（2021.6）

- ・ Internet Archeology にて考古学デジタルアーカイブ特集号が発表（2021.6）
- ・文化財論文ナビにて類似論文の自動表示と共起ネットワーク図の追加（2021.6）
- ・北海道・埼玉県・岐阜県・福井県の発掘調査報告書等の書誌情報 2822 件を一括登録（2021.7）
- ・文化財総覧 WebGIS の公開（2021.7）
- ・岩手県・茨城県・石川県・和歌山県の発掘調査報告書等の書誌情報 2367 件を一括登録（2021.7）
- ・山形県・秋田県・徳島県・山口県・佐賀県・長崎県・熊本県の発掘調査報告書等の書誌情報 2449 件を一括登録（2021.8）
- ・群馬県・香川県・愛媛県・大分県の発掘調査報告書等の書誌情報 1895 件を一括登録（2021.9）
- ・文化財論文情報の 2158 件を一括登録（2021.9）
- ・宮城県・栃木県・神奈川県・静岡県が発掘調査報告書等の書誌情報 4012 件を一括登録（2021.10）
- ・千葉県・京都府・広島県・沖縄県の発掘調査報告書等の書誌情報 4480 件を一括登録（2021.11）
- ・愛知県・三重県・滋賀県・鹿児島県の発掘調査報告書等の書誌情報 4248 件を一括登録（2021.11）
- ・文化財論文情報の 3628 件を一括登録。遺跡報告内論考データベースのデータ移行完了（2021.11）
- ・文化財総覧 WebGIS にて表示中の状態を再現できる機能等の公開（2021.12）
- ・文化財論文情報の 1718 件を一括登録（2022.1）

2022（令和4）年度

- ・昭和 30 年代に奈良文化財研究所が撮影した空中写真の範囲を拡張し公開（2022.4）
- ・文化財論文情報の 37391 件を一括登録（2022.4）
- ・発掘調査報告の掲載有無を追加（2022.6）
- ・書誌情報 6125 件を一括登録（2022.7）
- ・OCR 済みの PDF に一括差し替え（2022.7）
- ・文化財論文情報 55410 件を一括登録。考古関連雑誌論文情報補完データベースのデータ移行完了（2022.7）

- ・三重県四日市市の遺跡情報を登録（2022.9）
- ・重複書誌を整理。報告書総目録掲載対象項目を表示（2022.10）
- ・自然災害伝承碑の詳細表示と3D地形表示の機能公開（2022.10）
- ・全国文化財情報デジタルツインプラットフォームの構築（2022.10）

3. 利用統計

2021年度の1年間のPDFダウンロード数は1971911件であった（図2）。アクセス数は871万件、ページ閲覧数は9997万件だった（表2）。都道府県別登録抄録数の推移は表3。

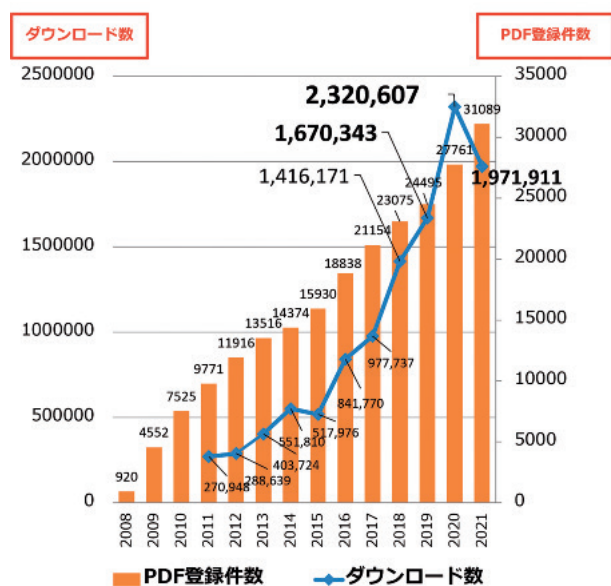


図2 報告書登録数とダウンロード数の推移

表2 全国遺跡報告総覧のアクセス数とページ閲覧数

年度	アクセス数	ページ閲覧
2015	—	—
2016	341万	1,155万
2017	886万	7,277万
2018	1,117万	1億302万
2019	1,557万	8,127万
2020	1,366万	7,849万
2021	871万	9,997万

4. 3DDBViewer

4.1 概要

2022年6月、奈文研と産業技術総合研究所（以下、産総研）は共同研究「全国文化財情報デジタルツインの社会実装に関する研究」を締結した。次の2つの目的を掲げている。

1. 文化財デジタルデータに関し、データ仕様およびメタデータの標準化モデルを作成する

2. 文化財デジタルデータに関し、プラットフォームおよびデータ連携基盤を構築する

これらの目的を実現するために、協力機関と連携し事業推進している。そして全国文化財情報デジタルツインプラットフォームを開発し、2022年10月18日に公開した。既に運用されていた3DDBViewerに簡便に文化財3Dデータを閲覧できるよう、入口ページを新設した（図3）。

日本中の文化財の位置情報を網羅する奈文研の文化財総覧 WebGIS と、産総研の3次元地理空間情報データベース（3DDB）との連携により、地下空間を含む国土の3次元構造と社会活動の歴史的情報を総合的に記述することが可能となった。建築物のCADモデルや点群といった多様な3次元データを統一的に扱えるため、地下から地上の情報を一体的に把握することができ、開発事業における意図しない文化財の破壊回避に役立つ（図4～7）。GISや3次元データに関する専門的な知識がなくても利用することができるため、地方公共団体や博物館が取得した文化財の3次元データ等を容易に登録できるようになる。



図3 3DDBViewer トップページ

入口ページ公開日：2022年10月18日

名称：3DDBViewer

URL：https://gsrt.digiarc.aist.go.jp/nabunken_aist/index.html

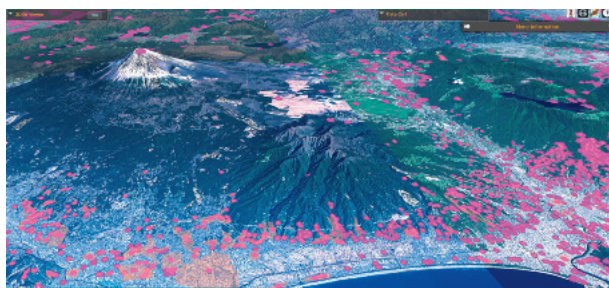


図4文化財の分布-富士山周辺

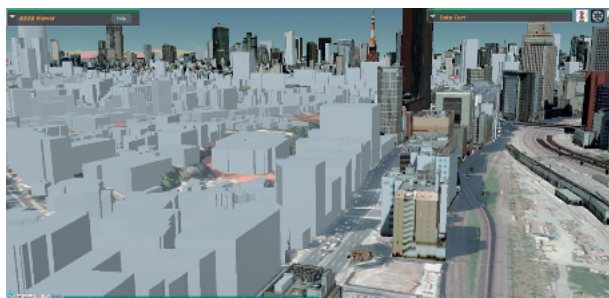


図5高輪木戸門跡と東京タワー

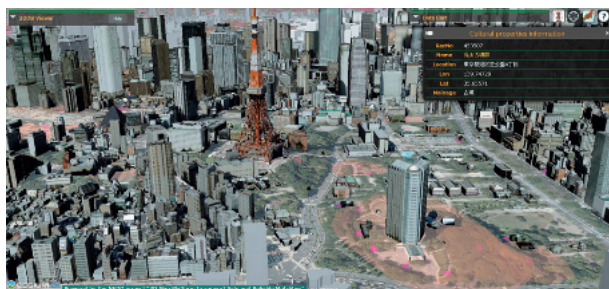
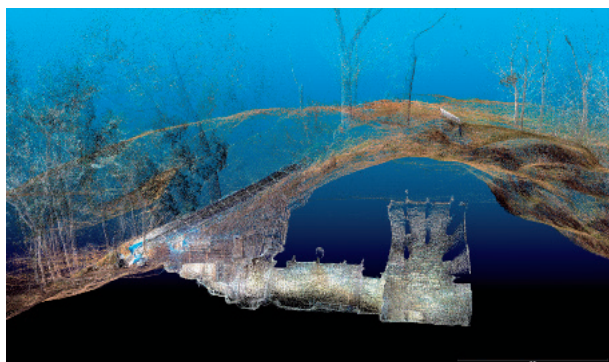


図6東京タワー近くの芝丸山古墳



国指定特別史跡・岩橋千塚古墳群天王塚古墳墳丘と石室の一体表示

図7岩橋千塚古墳群天王塚古墳墳丘と石室

表3 都道府県別登録抄録数の推移

	2019年 12月25日時点	2020年 12月28日時点	2022年 2月18日時点	2022年 10月23日時点
北海道	2750	2873	2878	2882
青森県	3419	3898	4027	4060
岩手県	3280	3460	3624	3650
宮城県	1097	1257	1365	1436
秋田県	2320	2366	2379	2414
山形県	1299	1304	1312	1307
福島県	4066	4263	4627	4697
茨城県	2515	2943	2988	3301
栃木県	1078	1216	995	995
群馬県	5011	5255	5578	5618
埼玉県	4950	5291	5386	5446
千葉県	7815	7862	8401	8350
東京都	3836	4363	4506	4613
神奈川県	1579	1725	1743	1886
新潟県	3034	3088	3317	3375
富山県	1874	1959	2046	2061
石川県	1248	1308	1534	1549
福井県	435	464	475	478
山梨県	705	713	718	735
長野県	3925	4127	4267	4395
岐阜県	1852	2261	2602	2596
静岡県	2935	3239	3438	3487
愛知県	2162	2254	2316	2536
三重県	2397	2429	2564	2591
滋賀県	2254	2388	2399	2389
京都府	4894	5341	5666	5568
大阪府	12535	12557	12984	12462
兵庫県	4202	4402	4526	4715
奈良県	3811	5834	5965	5995
和歌山県	1600	1670	1697	1715
鳥取県	1834	1853	1906	1910
島根県	3655	3729	3744	3716
岡山県	990	1014	1028	1057
広島県	1532	1600	1622	1615
山口県	963	991	896	883
徳島県	405	413	453	408
香川県	1899	2023	2102	2209
愛媛県	1180	1211	1228	1274
高知県	474	478	478	481
福岡県	6988	7428	7694	7822
佐賀県	1187	1215	1340	1342
長崎県	1040	1080	1162	1179
熊本県	1206	1283	1486	1561
大分県	1761	1939	2162	2203
宮崎県	2604	2630	2670	2682
鹿児島県	1724	1792	1817	1875
沖縄県	838	881	1014	1050

合計 125158 133670 139125 140569

※遺跡抄録にて市町村コードがないものはカウント外のため、
全体の件数と一致しない

※重複データの削除等で件数が減少することがある